白松苑だより

謹賀新年

平成30年
1月1日
No.51

基本理念
無限奉仕

尊厳
敬愛　和

社会福祉法人
正清会

新年あけましておめでとうございます。

当法人にとって一大事業である白松苑移転改築は、景気回復の影響を受け、工事請負業者の決定に時間を取り、七月末にようやく着工の運びとなりました。当初は今年四月には新白松苑に移転して事業開始の予定でしたが、半年余り遅れ、九月以降になる見込みです。

施工業者である安藤・間・沖村建設特定建設共同企業体の努力により、工事は着実かつ安全に施工されているところです。近隣の皆様には何かと御迷惑をおかけいたしますが、御理解御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年も国内外で大きな変化がありましたが、私たちの日常生活に目を向けますと、一段と加速する少子高齢化による人口減少で地域経済の低迷と地域生活課題の多様化・複雑化という問題が深刻化しつつあります。

このまま何もせずに手をこまねいていると、空き家がどんどん増えていくだけでなく、地域社会の生活自体が成り立たなくなることが全国各地で危惧されております。

国は、こうした状況を踏まえ、新たに「地域共生社会の実現」の方針を打ち出しました。私たち社会福祉法人は、〝地域福祉の向上〟を目的とした非営利組織です。高齢社会へ対応すべく、協力医療機関である阿知須共立病院と緊密な連携のもとに医療・介護面での地域貢献を目指して取り組んでまいりました。今後はさらに、福祉制度のみならず制度にはない地域福祉課題に地域の皆様と積極的に関わっていくことで、「地域で共に明るく生活ができる社会」を目指した活動を推進していく必要があると考えております。

明治維新から150年を迎える今年は、当法人の新たな出発の年として、介護サービス事業については、なお一層の質の向上を目指すとともに、地域の皆様と一緒になって住みよい社会づくりに積極的に取り組んでまいる所存です。どうか、今後とも皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとりましてよりよい年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

平成三十年　元旦

社会福祉法人　正清会
理事長　三好　正規

新白松苑建設工事の模様　　平成29年12月22日現在

門松は、入居者のご家族様が丹精込めてつくられたもので、ご寄贈頂きました。

可愛い来苑者

12月11日、阿知須幼稚園の園児の皆さんの訪問があり、踊りや歌を元気いっぱい披露してくれました。ご利用者様は満面の笑顔で、拍手喝采！！
名残を惜しんで、お別れの握手をして「また来てね」と園児の皆さんに声をかけておられました。

おじいちゃん、おばあちゃん、げんきでね

車椅子寄贈

12月21日、阿知須中学校から車椅子を寄贈していただきました。
御厚意に心から感謝申し上げます。

大切に使わせていただきます

笑顔で締めくくり

職員紹介

重枝　帆南
特養（看護職員）

吉山　定
特養（介助員）

立野　勇
特養（介護職員）

浅原　良紀
特養（介護職員）

発行責任者
特別養護老人ホーム白松苑
苑長　福永　静

〒754-1277
山口市阿知須5044番地1
TEL　0836-65-2250
FAX　0836-65-4645

～クリスマス会～（デイサービスセンター）

12月22日、にぎやかにクリスマス会を開催。
職員がサンタの衣装を着て、全員でビンゴゲームを楽しみました。手袋、靴下、帽子のいずれかが当たるとあって、利用者様はゲームに熱中しておられました。

～しめ縄作り～（グループホーム）

12月14日、竹とんぼの会の皆さんにご来苑頂き、ご利用者様に年末恒例のしめ縄作りをご指導いただきました。ご利用者様との「共同作業」もあって大いに盛り上がりました。
“なわをよる”作業を体験された利用者様もおられましたが、力がいるようでなかなか大変な様子でした。
出来上がると、「思ったより上手に出来たよ」「手作りのしめ縄嬉しいねぇ～」「来年はもっと上手に作ろう」などたくさんの喜びの声があがりました。

12月１日、阿知須中学校の生徒さんがボランティア活動に来て下さいました。
たくさんの車椅子をきれいにしていただきました。
大変ありがとうございました。

おかげさまで、ピッカピカになりました。

10月25日、11月28日、阿知須小学校の児童の皆さんが施設体験に来て下さいました。
ご利用者様のお食事を実際に食べていただき、歌の披露後、持参された折り紙で小箱や折り鶴を作成し、ご利用者様と交流を図っていただきました。

10月28日、井関小学校の金管バンドの皆さんが演奏に来て下さいました。
金管楽器ならではのきらびやかな音色と迫力ある演奏にご利用者様も感激されていました。